

藤岡市歯と口の健康づくり推進に関する基本計画

歯科口腔保健検討会 H.26.1.23 最終

基本理念 口の中の状態が影響する全身の病気（糖尿病・虚血性心疾患・脳卒中・誤嚥性肺炎等）を防ぎ、生涯にわたり歯と口の健康を保持することで、食べる喜びや話す楽しみを維持し、健康寿命を延ばす。

ライフ ステージ	歯科疾患の予防		生活の質の向上に向けた口腔機能の 獲得・維持・向上・低下の軽減		定期的な歯科検診や歯科医療を受けることが 困難な者		歯と口の健康に関する普及啓発・社会環境の整備	
	目標	指標	目標	指標	目標	指標	目標	指標
乳幼児期	健全な歯・口腔の 育成 口腔機能の向上	<ul style="list-style-type: none"> う歯のない者の割合の増加 1歳半健診 99.2%→100% * 3歳児健診 82.3%→100% フッ素塗布した者の割合の増加 1歳半健診 60.4%→80% 3歳児健診 79.0%→100% 	<ul style="list-style-type: none"> 口腔機能の獲得 口腔機能に影響を与える習癖等の除去や食育等の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 不正咬合等がある者の割合の減少 3歳児健診 8.3%→7.0% (不正咬合判定・指導基準統一が必要) 	<ul style="list-style-type: none"> 障害児通所施設の定期歯科検診と歯科保健指導の実施 障害児の歯科診療の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 在宅障害児は小児医療センターで歯科受診している 障害児の歯科診療実施歯科診療所の増加 市内1か所→5か所 障害児通所施設における定期歯科検診と歯科保健指導の実施率 100%→100% 障害児入所施設入所者は学校保健安全法の歯科健診受診している 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者への普及啓発 (口腔・顎・顔面の成長発達に関する知識、う歯予防、フッ素塗布、歯口清掃、食育等) 健康格差の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> フッ素塗布した乳幼児等の割合の増加 う歯のない者の割合の増加
学齢期 (高等学校含む)	口腔機能の向上	<ul style="list-style-type: none"> 永久歯う歯のない者の割合の増加、 1人平均永久歯う歯本数の減少 小学 う歯 82.1%→85% 0.42本→0.3本 中学 う歯 55.9%→60% 1.54本→1.3本 高校 う歯 20.4%→25% 4.24本→3.5本 歯肉炎のある者の割合の減少 小学 GO* 7.6%→6% G* 4.1%→3% 中学 27.3%→25% 9.3%→8% 高校 14.9%→13% 8.1%→7% 	<ul style="list-style-type: none"> 食育の推進 摂食嚥下に望ましい習慣を身につける 	<ul style="list-style-type: none"> 誤嚥や窒息事故をおこさない 0%→0% 	<ul style="list-style-type: none"> 障害児の歯科診療の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者や児童・生徒への普及啓発 (歯肉炎予防、う歯予防、フッ化物利用、歯口清掃、定期検診、口腔の状態と全身の健康との関係性、かかりつけ歯科医、食育) 歯科口腔保健に携わる人材育成 健康格差の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> 歯肉炎のない者の割合の増加 未処置歯のある者の割合の減少 歯磨き1日3回以上者の割合の増加 	
成人期 (妊産婦を含む)	健全な口腔状態の維持	<ul style="list-style-type: none"> 40歳以下の歯周病ある者割合の減少 未把握→把握・改善 進行した歯周病ある者の割合の減少 45.7%→40% 60歳で24本以上ある者割合の増加 58.9%→60% 初妊婦の歯科健診受診率の増加 21.6%→30% 40.50.60.70歳歯科健診受診率の増加 10.5%→15% 	<ul style="list-style-type: none"> 口腔機能の回復・向上及び低下の軽減 糖尿病や喫煙による歯周病の減少 	<ul style="list-style-type: none"> 国保被保険者糖尿病受診割合の減少 11.6%→11% 喫煙率の減少 20.3%→20% 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者入所施設の定期歯科検診と歯科保健指導の実施 障害者入所施設の人材を育成し、口腔ケアに取り組む 在宅障害者の訪問歯科診療の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者入所施設における定期歯科検診と歯科保健指導の実施率 未把握→把握 在宅障害者の訪問歯科診療実施率の増加 未把握→把握 	<ul style="list-style-type: none"> 住民への普及啓発 (歯周病と糖尿病や心筋梗塞、早産や口腔がんとの関係性、う歯予防、歯口清掃、定期検診、かかりつけ歯科医を持つ等) 健康格差の縮小 (特に高校卒業から39歳までを重点的に実施する) 職域と連携した普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 40歳以下の歯周病ある者の割合の減少 進行した歯周病のある者の割合の減少 60歳で自分の歯が24本以上ある者の割合の増加
高齢期	歯の喪失防止	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨き1日3回以上者の割合の増加 29.7→40% 進行した歯周病ある者の割合の減少 未把握→把握・改善 80歳で自分の歯が20本以上ある者の割合の増加 28.4%→30% 	<ul style="list-style-type: none"> 咀嚼やくや嚥下機能の回復・向上及び低下の軽減 	<ul style="list-style-type: none"> 口の渇きが気になる者の割合の減少 26.4%→20% むせがある者の割合の減少 17.7%→15% 硬い物が食べられない者の割合の減少 29.3%→25% 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険施設入所者の口腔内清掃と咀嚼やくや嚥下機能の維持向上 	<ul style="list-style-type: none"> 介護保険施設入所者の歯科検診・歯科診療実施率 未把握→把握増加 介護保険施設の協力歯科診療所数の増加 38か所→42か所 	<ul style="list-style-type: none"> 住民や介護関係職員への普及啓発 (歯周病と糖尿病、口腔の状態と全身の健康との関係性、誤嚥性肺炎予防、口腔機能の維持、歯口清掃、入れ歯の手入れ、定期検診等) 歯科医療関係者の協力体制構築 健康格差の縮小 	<ul style="list-style-type: none"> 歯磨き1日3回以上者の割合の増加と咀嚼やくや嚥下機能が向上した者の割合の増加 むせがある、硬い物が食べられない者の減少 う歯や歯周病の悪影響知っている 53.3%→65%

* (指標 現状→H27目標)

*GO (歯肉炎経過観察)

G (歯肉炎)